

# ツィメルマンを聴く——それは作品と一体となること。 彼は第1音から異次元の世界、幻想的な世界、 夢幻的な世界へと聴き手をいざなう

クリスチャン・ツィメルマンは来日公演のたびに新たなレパートリーを披露して聴き手の心を高揚させているが、ずっと演奏したいといい続けてきたカロール・シマノフスキの作品をようやく2022年に録音した。(英『グラモフォン賞2023』『録音賞(ピアノ部門)』を「シマノフスキ:ピアノ作品集」で受賞。)大半が福山で収録され、21年のシューベルト・アルバムも柏崎で録音され、22年には第33回高松宮殿下記念世界文化賞音楽部門を受賞した。これほど日本とは縁が深く「日本公演は特別な意味合いをもつ」と語る彼は、常に来日公演のプログラムに細心の注意を払い、いまの自分を投影させ、こだわりの選曲を行う。

「私はひとつの作品を完全に自分の音楽にするまで約10年はかけます。日々のピアノの過酷なまでの練習と研鑽は、高い頂を目指して一步一步登っていくような地味な作業。その思いを演奏から受け取ってほしいのです」

真摯で思慮深く、一途に作品の内奥へと没入していく演奏は、聴き終わると拍手も忘れてしまうほどの深い感動をもたらす。今回のプログラムは、長年の愛奏曲であるショパンの夜想曲、ピアノ・ソナタ第2番から始まり、後半は最近各地で演奏しているドビュッシーの「版画」、そしてシマノフスキが並ぶ。彼は4歳のときにシマノフスキのオペラと出会い、「自分の思考に合う音楽だ」と感じたそうだ。「ポーランド民謡の主題による変奏曲」はポーランド南部タトラ地方の民謡がもとになっている。ツィメルマンの作品に対する研究と造詣の深さ、熱き思いを受け取りたい。

ツィメルマンを聴く——それは作品と一体となること。彼は第1音から異次元の世界、幻想的な世界、夢幻的な世界へと聴き手をいざなう。その響きを全身に纏う至福の時間がまた訪れる!!

音楽ジャーナリスト 伊熊よし子

STEINWAY



© Bartek Barczyk

## クリスチャン・ツィメルマン (ピアノ) Krystian Zimerman, Piano

ツィメルマンの初舞台は1962年の7歳の少年時代まで遡る。18歳で「ショパン国際ピアノコンクール」で優勝。翌年、レコード・デビューして以降、ヘルベルト・フォン・カラヤン、小澤征爾ら多くの巨匠と共演。指揮者で作曲家のレナード・バーンスタインとは15年以上にわたる交流があった。ショパン没後150周年(1999年)の前年には、ポーランド出身の音楽家で編成した「ポーランド祝祭管弦楽団」を結成。ベートーヴェン生誕250周年(2020年)には、この楽聖のピアノ協奏曲を全曲再録音した。

1978年以来、たびたび来日し、2021年12月のサントリーホール公演が日本の275回目の公演となった。2003年には東京にも自宅を構えたほどの親日家。「ピアニストは楽器に興味をもつべきだ」が持論。自ら調律し、組み立てるなどピアノのメカニズムや音響学に精通し、作品解釈を極めることが、精緻で繊細な演奏を支えている。

フランスのレジョン・ド・ヌール勳章受賞(2005年)、ポーランドにおける民間人の最高勳章である、星付きコマンドルスキ十字勳章(Polonia Restitua Commandeur Cross with Star)(2013年)など、荣誉ある名誉博士号や勳章を受賞。2022年には第33回高松宮殿下記念世界文化賞音楽部門を受賞。2023年英『グラモフォン賞2023』『録音賞(ピアノ部門)』を「シマノフスキ:ピアノ作品集」で受賞。

### クリスチャン・ツィメルマン・ピアノ・リサイタル 2023年日本公演その他のスケジュール

- 11/4(土) 柏崎市文化会館アルフォーレ (問)0257-21-0010
- 11/22(水) 川崎ホール(鹿児島市民文化ホール) (問)099-257-8111
- 11/25(土) ふくやま芸術文化ホール リーデンローズ (問)084-928-1810
- 11/30(木) 愛知県芸術劇場コンサートホール (問)CBCテレビ事業部 052-241-8118
- 12/6(水) 水戸芸術館 (問)水戸芸術館チケット予約センター 029-231-8000
- 12/9(土) 兵庫県立芸術文化センター KOBELCO大ホール (問)芸術文化センターチケットオフィス 0798-68-0255
- 12/16(土) 所沢市民文化センター ミューズ アークホール (問)ミューズチケットカウンター 04-2998-7777

### <特別割引チケットのご案内>

ジャパン・アーツびあオンラインチケット及びジャパン・アーツびあコールセンターで受付、横浜公演は神奈川芸術協会でも受付

- 学生席(各ランクの半額/座席の指定が可能です)  
残席がある場合に限り、10/2(月)10:00より受付を開始いたします。  
※社会人学生を除く公演当日25歳までの学生が対象です。当日は学生証をご提示の上、ご入場ください。(学生証がない場合、一般価格との差額を頂戴いたします。)
- シニア・チケット=65歳以上の方は\$17,000円、A13,000円でお求めいただけます。
- 車椅子の方は、本人と付き添いの方1名までが割引になります。(東京公演はジャパン・アーツびあコールセンターで、横浜公演は神奈川芸術協会で受付)

### <次のことをあらかじめご承知の上、チケットをお求め下さい。>

- ①やむを得ない事情により、曲目・曲順等が変更になる場合がございます。
- ②公演中止の場合を除き、お求め頂きましたチケットのキャンセル・変更等はできません。③いかなる場合も再発行できません。紛失等には十分ご注意ください。
- ④演奏中は入場できません。⑤未就学児の同伴はご遠慮下さい。なお就学児以上の方もご入場には1人1枚チケットが必要です。⑥全指定席です。指定の座席にてご鑑賞下さい。⑦場内での写真撮影・録音・録画・携帯電話等の使用は、固くお断りいたします。⑧ネットオークションなどによるチケットの転売は、トラブルの原因になりますのでお断りいたします。⑨他のお客様のご迷惑となる場合、主催者の判断でご退場いただく場合がございます。

Twitterでフォローする  
@japan\_arts

## 現代を代表するピアニスト、クリスチャン・ツィメルマンが シマノフスキの知られざる魅力に迫る!

### シマノフスキ:ピアノ作品集 クリスチャン・ツィメルマン

【収録曲】 カロール・シマノフスキ(1882-1937)  
9つの前奏曲 作品1から  
①第1番 口短調 ②第2番 二短調 ③第7番 八短調 ④第8番 変ホ短調 ⑤-⑦ 仮面劇 作品34  
20のマズルカ 作品50から  
⑧第13番 ⑨第14番 ⑩第15番 ⑪第16番 ⑫-⑲ ポーランド民謡の主題による変奏曲 作品10  
録音:1994年5月14日-21日 コペンハーゲン、ティヴォリ・コンサートホール(5-7)  
2022年6月18日-22日 福山、ふくやま芸術文化ホール(1-4、8-23)



[MQA/UHQCD] UCCG-45059  
¥3,080(税込) 2022年9月30日発売

- カロール・シマノフスキを偉大なピアノ音楽の作曲家として位置づけることを目指し研究を重ねてきたツィメルマンが、2022年に迎えたシマノフスキの生誕140周年を記念して録音に挑んだアルバム。ワーグナーなど後期ロマン派の影響を受けた初期、ドビュッシーやストラヴィンスキーと関わった中期、ポーランドの民族音楽に傾倒した後期へと、シマノフスキの愛選していく作風を、ツィメルマンの選曲により味わうことができます。
- 録音は今年6月に、友人である音響設計家の豊田泰久氏が設計した広島県・福山市のふくやま芸術文化ホールにて実施しました。さらに、1994年にツィメルマンが初めて録音したシマノフスキの作品『仮面劇』の未発表音源も収録されています。



©Bartek Barczyk